

令和4年度 第3回 稲沢市廃棄物減量等推進審議会 議事録

日 時 令和5年2月24日（金）
午後1時57分～2時42分
場 所 環境センター2階 大会議室

出席委員 足立 三千夫、小久保 規与子、内田 英伸、吉川 永浩、岩田 知子、横井 定、
桑山 桂子、小川 昌悟、月村 正、藤谷 昌代
欠席委員 なし
事務局 足立経済環境部長、別府資源対策課長、大平主幹、川口主幹、野村主任
オブザーバー 森田経済環境部次長兼環境保全課長、吉川環境施設課長

<午後1時57分> ●開会

課長 定刻となりましたので、ただ今から令和4年度 第3回稲沢市廃棄物減量等推進審議会を
始めさせていただきます。

本日は、御多忙のところ当審議会に御出席賜り、誠にありがとうございます。この会の
進行を務めさせていただく資源対策課長の別府正弘です。よろしくお願いいたします。

それでは、審議に入らせていただきます。最初に、本日の出席は10名の委員中、10
名の出席をいただいております。稲沢市廃棄物減量等推進審議会条例 第6条第3項の規定に
より、委員の過半数の出席がありますので、本会議が成立することを報告いたします。

続きまして、審議会の開催にあたって、経済環境部長の足立和繁があいさつを申しあげ
ます。

部長 (あいさつ)

課長 ここからの議事の進行は、審議会条例 第5条第3項の規定により、足立会長にお願いし
たいと思います。よろしくお願いいたします。

<午後2時05分> ●議題1 「令和5年度稲沢市一般廃棄物処理実施計画について」

会長 それでは議題1「令和5年度稲沢市一般廃棄物処理実施計画について」を議題とします。
事務局から説明をお願いします。

事務局 説明<資料1>

会長 説明が終わりました。全体を通して、委員の皆さんの御意見はございませんか。

内田委員 生ごみを早く収集できるような取組みはあるのでしょうか。

事務局 迅速な収集を心がけているところですが、車両台数や人員などの制約もあり、そういった取組みはありません。生ごみが地域で問題となるのは、やはりカラス被害によるところが大きいと考えますので、そういったカラス被害を減らすような方向からのアプローチで周知、啓発をしてみたいと思います。

内田委員 収集ルート of 順番を週によって入れ替えるようなことは可能でしょうか。

事務局 可能ではありますが、収集時間が週によって大きく変わることは市民にとって逆に負担にもなり得ると考えます。地域ごとのおおよその収集時間を頭にいれてごみを出されるかたもみえますので、収集時間が大きく前後すると後出しの誘発に繋がるおそれがあります。道路状況等により毎日同じ時間に収集することは不可能ですが、そのような中でもなるべく時間を揃えた方が結果的にトラブルは少ないのではないかと思います。

横井委員 発火性危険物の対象や収集方法、収集頻度については、どのように考えていますか。

事務局 リチウムイオン電池やカセットボンベ、スプレー缶、ライター等の発火するごみが対象です。月1回の分別収集の際に専用の回収ボックスを設置し、収集を行います。

会長 説明の中で、ごみ及び資源、し尿及び浄化槽汚泥の次年度発生量見込みについて、現年度から大きな変化はないとありました。まったく同じということはないと思いますので、数値的にどう変化があるのか、説明をお願いします。

事務局 全体としては微減の傾向にあります。区分別に申し上げますと、資源全般は10%減、逆に粗大ごみは20%近く増、可燃ごみはほぼ同じで、不燃ごみは10%ほど減を見込んでおります。次回からは現年度と見比べられるような資料を準備いたします。

会長 資源が10%減の見込とのことですが、その根拠はどのようなものでしょうか。

事務局 収集運搬の委託業者から報告される実績数値を基に試算しております。

横井委員 実施計画の中に、市が収集しない廃棄物の記載がありますが、どのような手段で周知しているのでしょうか。

事務局 市が収集しない廃棄物、いわゆる処理困難物については、年1回各世帯に配布しているごみ分別カレンダーに記載しています。そのほかの周知手段として主なものは、市ホームページとごみ分別辞典です。近年は広報紙に載せるようなことはしていませんが、特定の処理困難物の処理に市民の皆さまがお困りだというようなことがあれば、ピックアップして周知することも検討いたします。

会長 ごみ分別の案内手段としてA Iチャットボットが他自治体で導入されています。稲沢市はどうでしょうか。

事務局 当市においても昨年度から導入されており、市ホームページかLINEの公式アカウントからアクセスすることができます。活用いただくよう案内もしているところですが、ごみ分別ガイド機能の配置が仕様上奥まったところにあり、気づいていただきにくいというのが実情です。

 しかしながら、A Iチャットボットには多言語対応という特長があり、市民から外国籍住民とのごみ出しトラブルで相談をいただいた際には、積極的にご活用いただくようご案内しているところです。

 今後はA Iチャットボットにこだわらず、ごみ分別アプリなど、市民のニーズに応じたツールの導入を検討してまいります。

副会長 ごみ処理実施計画中のごみ及び資源の発生量見込みが前年度計画から1, 300 tほど減少していますが、どういった理由によるものでしょうか。

事務局 ごみ処理実施計画の発生量見込みについては、過去3カ年の実績を基に機械的な試算を行っております。試算数値から乖離が見込まれるものについては、適宜修正を行います。

 計画数値と比較して次年度のごみ量の見込みが大きく減少している要因としましては、近年の社会情勢の変化による影響が考えられます。新型コロナウイルスが典型例ですが、市の試算や施策による減少見込みよりも、社会情勢の変化による影響の方が強く数値として表れていると推測されます。

<午後2時24分> ●議題2「その他」

会長 次に、議題2「その他」ですが、事務局からの報告をお願いします。

事務局 2点御報告がございます。

 <1点目、事業系リサイクル資源の受入実績について>

会長 説明が終わりました。委員の皆さんの御意見はございませんか。

内田委員 事業系のペットボトルについて、コンビニエンスストアや自販機横のリサイクルボックスは中を洗わずに出しています。事業系を受け入れることは、洗浄工程の追加によりコスト増とはなりませんか。

事務局 事業系であっても、家庭系と同様に洗って出していただくように御案内しています。また、ペットボトルは処理にあたっては洗浄工程が必ず含まれるものであり、事業系を受け入れることにより、洗浄コストが増加することはないという認識であります。

洗浄してから出していただくよう御協力をお願いしている理由の1つとしましては、臭いや衛生面で収集業者への負担が大きくなるためです。

会長 それでは、次の報告をお願いします。

事務局 <2点目、資源とごみの分別辞典の改訂について>

会長 説明が終わりました。委員の皆さんの御意見はございませんか。

横井委員 次回の改訂から、ペットボトルのラベルはがしが必要となるとのことだが、どのような理由によるものでしょうか。

事務局 ペットボトル本体とは素材自体が異なるため、リサイクルにあたっては分ける必要があります。

横井委員 その理由の部分まで周知していただくと、市民に伝わりやすいかと思います。

内田委員 ごみ処理実施計画について、可燃ごみの区分にプラが入っていますが、前回から区分は変更になっていますか。

事務局 変更はありません。汚れのとれないプラについては、可燃ごみとして出していただくよう御案内しています。

会長 フードドライブの先進事例調査について、前回の審議会からの進展はありますか。

事務局 情報提供いただいた一宮駅の回収ボックスについては現地確認し、今後の参考とさせていただきます。新しい取組みとしては、稲沢市職員互助会事務局に協力の打診をしています。実現できれば、庁舎内に回収窓口を設け、主に職員から食品を集めることができます。

また、愛知県の事業になりますが、あいちエコアクション・ポイント事業への登録をおこないました。フードドライブはエコアクション・ポイントの付与対象となりますので、ささやかですが善意に対するインセンティブとして活用してまいります。

フードドライブに限らず、目新しい取組みやアイデアなどがあればぜひ情報提供ください。委員の皆さまの御協力をお願いいたします。

会長 他に事務局から何か提案はありませんか。委員の皆様どなたか発言はありますか。

(なし)

会長 以上で本日の審議内容は全て終了しました。

皆様の御協力ありがとうございました。

<午後2時42分> ●閉会